

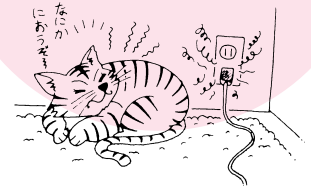


その油断 火から炎へ 災いへ

問 広域消防署 ☎ 4 3 4 1 5 1

平成15年の火災発生状況

気をつける！
老朽化した電気コードから出火
電気コードが原因となる火災が発生しています
古い電気コードはお早めに交換してください



昨年1年間に発生した火災は16件で、前年と比較して10件の減少でした。これは広域消防署が発足した昭和48年以来、最少の火災発生件数となりました。
火災種別では建物火災が12件で全体の75%を占めています。火災による損害額は3、200万円の前年より4、100万円減少しています。
発生原因を見ると、放火の疑いが3件、布団乾燥機のコードの劣化、ガスこんろの消し忘れ、車両の電気配線からの出火が各2件となっています。
3人が逃げ遅れなどで死亡しています。特に、高齢者世帯で火災が発生した場合、逃げ遅れることが予想されますので、十分注意しましょう。
今年も地域ぐるみで防火に努めましょう。

火災種別発生件数

区分	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
建物	24	21	28	20	14	21	15	28	22	12
林野	2	3	3	4	1	5	0	6	1	0
車両	1	4	3	6	2	5	4	2	1	3
その他	3	1	1	1	2	5	3	2	2	1
合計	30	29	35	31	19	36	22	38	26	16

平成15年
火災発生件数16件
損害額 3、200万円

防火一口メモ

消防署では消火訓練の指導および防火講話などを行っています。
町内からの申し出をお待ちしています。



A.Q.
お年寄りを火災から守るために気を付けることは？
寒くなると布団のまわりで火を使うことが多くなりますが、ちよつとしたはずみで火災が起きることがあります。
暖房器具の周りは常に整理整とんししておくよう気を付けましょう。

